

# クオリティフォーラム 2021 (品質経営総合大会) プログラム 2021年11月4日(木)~5日(金)、8日(月)

(第27回品質機能展開シンポジウム同時開催)

11月4日(木)

11月5日(金)

11月8日(月)

集合会場受付 9:30 ~ 日本教育会館 (東京・千代田区一ツ橋)  
ライブ配信 10:00 ~ 配信開始

特別講演・企画セッション・一般事例発表の概要はホームページをご覧ください。  
※本プログラムは、登壇者・発表者の都合により、変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。



特別講演	時間	A会場 (3階 一ツ橋ホール)				
	10:15~10:25	開催挨拶 佐々木 真一 (一財)日本科学技術連盟 理事長、今野 勤 クオリティフォーラム企画委員長				
	10:25~11:35	特別講演1 「世界基準での価値創造とイノベーションを起こすための組織能力強化」 百野 研太郎 (楽天グループ株) 取締役 副社長執行役員 COO (Chief Operating Officer)				
	11:50~13:00	特別企画 「ビジネスモデルで先行し、現場力勝負に持ち込むための顧客価値創造と組織能力向上のあるべき姿を求めて」~「JUSE-エグゼクティブセミナー」7か月の取り組みから得たベストプラクティス~ 「事業構想の全体像」加藤 雄一郎 (名古屋工業大学 産学官金連携機構 プロジェクト教授) 「コニカミノルタにおける顧客価値創造の実践活動」廣田 好彦 (コニカミノルタ株) 上席執行役員 情報機器開発本部長 【コーディネーター】内田 雅文 (エグゼクティブセミナー企画委員)				
	時間	A会場 (3階 一ツ橋ホール) 【品質で勝つ!これからの品質経営を考える~「令和の大宣言」後の日本産業競争力向上への道~】	B-1会場 (8階 第一会議室 (801・802)) 【デジタルトランスフォーメーション (DX) による新しい価値の創造 I】	B-2会場 (8階 第一会議室 (803・804)) 【トピックが語る「質向上」に向けた取組みと課題】	C会場 (8階 第二会議室 (805・806)) - JAQ 連携セッション 【TQMのコアツール/方針管理の重要性を改めて考える II~日常管理、機能別管理との効果的活用も含む】	D会場 (9階 喜山倶楽部 平安の間) 【第27回品質機能展開シンポジウム】
企画セッション	14:00~14:45	① 「品質経営研究会」が示す、これからの品質経営の進め方~品質経営をどう測るか~ トヨタ自動車株 元副社長 (一財)日本科学技術連盟 理事長 佐々木 真一	⑤ 「ニューノーマル時代の製造業のデジタルトランスフォーメーション (DX) と東芝の取り組み」 株式会社 デジタルイノベーションテクノロジーセンター チーフエバンジェリスト 福本 勲	⑨ 「デミング賞挑戦を通じた顧客価値の提供で「品質至上」を実現」~次の100年へバトンをつなぐために~ アート金属工業株 (2020年度デミング賞受賞) EA (エグゼクティブアドバイザー) 石原 光章	⑬ 「日常管理/方針管理の今日的課題/課題と対応の方向性」 元文化学園大学 特任教授 ((一財)日本科学技術連盟 嘱託) 光藤 義郎	⑰ 「品質機能展開の基礎と活用」 玉川大学 経営学部国際経営学科 准教授 木内 正光
	14:50~15:35	② 「コニカミノルタの顧客価値創造と組織能力向上」 コニカミノルタ株 上席執行役員 品質本部長 杉江 幸治	⑥ 「製造業 DX 調査」から見た現場の「本音」と「課題」 日経 BP 総合研究所 クリーンテックラボ 上席研究員 三好 敏	⑩ 「新製品立ち上げ業務改善を通じた体質強化」~常に成長できる会社づくりを目指して~ トヨタ紡織九州株 (2019年度日本品質奨励賞 TQM 奨励賞受賞) 取締役社長 望月 郁夫	⑭ 「コーセルにおけるTQM活動の改善に向けた取り組み~方針管理と人財育成~」 コーセル株 取締役 TQM 推進室 室長 清澤 隆	⑱ 「形で考えない設計研究会」における QFD の活用 株 ISID エンジニアリング 技術アドバイザー 岡 建樹
	15:40~16:25	③ 「アクシアル リテイリングにおける品質経営」 アクシアル リテイリング株 代表取締役社長 原 和彦	⑦ 「デジタルトランスフォーメーションによる価値創造への挑戦」 旭化成株 代表取締役 兼 副社長執行役員 技術機能部門統括 高山 茂樹	⑪ 「東海理化学が考える『日本のモノづくり』の現状と課題」~勝ち残りかけた仕先との二人三脚~ 株東海理化学 代表取締役社長 二之タ 裕美	⑮ 「トヨタ九州におけるビジョン実現に向けた方針管理の取り組み」 トヨタ自動車九州株 経営企画本部長 原田 聡	⑲ 「ワコムにおけるソフトウェア評価への QFD 活用」~シンプトン分析とデザインアプローチ~ 株ワコム Engineering Design Quality シニアエンジニア 科学工学技術委員、QFD Green Belt 山本 高廣
	16:30~17:15	④ 3者とフロアによる総合討論 (パネル) 【コーディネーター】鈴木 浩佳 (トヨタ自動車株 モノづくり開発統括部 主査)	⑧ 3者とフロアによる総合討論 (パネル) 【コーディネーター】福本 勲 (上掲)	⑫ 3者とフロアによる総合討論 (パネル) 【コーディネーター】棟近 雅彦 (早稲田大学 理工学術院 教授)	⑯ 3者とフロアによる総合討論 (パネル) 【コーディネーター】光藤 義郎 (上掲)	⑳ 「3DプリンタによるIoTカットOPAW 水素振動子の用途開発」~自社のユニークな技術を活かせる新規事業機会の創出の取り組み~ リバーエレクトロニクス株 商品開発部 部長 声沢 英紀

一般事例発表・日本品質奨励賞受賞報告講演	時間	A会場 (3階 一ツ橋ホール) 司会:加藤 重正 (上野原カントリークラブ) 鳥羽 秀人 (トヨタ自動車株)	B-1会場 (8階 第一会議室 (801・802)) 司会:内海 慎一 (富士フィルムビジネスイノベーション株) 杉本 高一 (株ジーシー)	B-2会場 (8階 第一会議室 (803・804)) 司会:奥原 正夫 (公立諏訪東京理科大学) 澤田 昌志 (株アイシン)	C会場 (8階 第二会議室 (805・806)) 司会:飯塚 裕保 (積水化学工業株) 渡辺 喜道 (山梨大学大学院)	D会場 (9階 喜山倶楽部 平安の間) 司会:鈴木 富雄 (アイホン株) 新倉 健一 (前田建設工業株)
	9:00~9:30	⑲ 「工程の品質改善・効率化」 「歯科用ボンディング材における工程生産性の向上」 株ジーシーデンタルプロダクツ 酒井 雄大	⑲ 「SQCの活用」 「データサイエンスを活用した引継ぎ予測モデルの構築~型内特性値の明確化~」 株デンソー 森 正至	⑳ 「マネジメントと組織運営」 「イノベーションを醸成させる経営の質と価値創造の「場」をつくる「Nexus Commons」~創造的「絆(きずな)」をつくる創生の場」 株オカムラ 前田 明洋	㉑ 「新商品・新技術開発」 「レビュー支援システムを用いた改修起因障害の低減」 株日立製作所 武井 良太	㉒ 「マネジメントと組織運営」 「品質経営のフロンティアとなる「サービスエクセレンス」と「生産革新」」 前田建設工業株 菅井 正澄
	9:35~10:05	⑳ 「QCサークル活動 (小集団改善活動) の推進」 「ことばのデータ (言語データ) についての研究成果」 QCサークル千葉地区 猿渡 直樹	㉑ 「SQCの活用」 「CAEによる最適製造条件 (OPCC) の追求」 株アーレスティ 井上 孝治・築城 佑果	㉒ 「マネジメントと組織運営」 「イノベーションを醸成させる経営の質と価値創造の「場」をつくる「Nexus Commons」~協創のプロセスをマネジメントする方程式」 国立大学法人 東海国立大学機構 名古屋大学 栗本 英和	㉓ 「SQCの活用」 「スターターモーター耐久試験設備の異常検知の自動化」 株澤藤電機株 関口 強	㉔ 「サービスの質向上」 「品質経営のフロンティアとなる「サービスエクセレンス」と「生産革新」」 前田建設工業株 小原 好一
	10:10~10:40	㉑ 「人材育成」 「問題解決実践 初心者・初学者が突き当たる壁を乗り越える指導」 元株リコー 熊井 秀俊	㉒ 「日本品質奨励賞 受賞企業講演」 品質革新賞 大和リース株	㉓ 「日本品質奨励賞 受賞企業講演」 TQM奨励賞 日電精密工業株	㉔ 「SQCの活用」 「SQC手法を活用したシート用リクライナーのガタつき低減事例」 ~最適条件の導出によるガタつき量の工程能力向上~ トヨタ紡織株 加藤 上太郎	㉕ 「サービスの質向上」 「新たな価値創造としてのサービスエクセレンス」 東京大学 水流 聡子
	10:45~11:15	㉒ 「人材育成」 「改善キーマンの育成と全社改善活動の活性化によるしびれ改善風土の醸成」 株オティックス 平松 直樹	㉓ 「その他:機械学習・SQC」 「品質・技術向上につなげる上手な「機械学習」と「統計的品質管理」の使い方について」 トヨタ自動車株 渡邊 克彦	㉔ 「働き方」 「専門チーム生産性アップに向けての業務革新」 株アイシン 馬場 貴章	㉕ 「SQCの活用」 「開発のやり直し撲滅に向けたHIP性能予測手法の見直し」 トヨタ紡織株 村田 峰崇	㉖ 「工程の品質改善・効率化、サービスの質向上」 「サービスエクセレンスと生産革新をドリブする3つの「X」(DX・UX・CX)」 株IJイノベーションインスティテュート 浅羽 登志也
	11:20~11:50	㉓ 「人材育成」 「「人材育成」がQCサークル活動活性化の第一歩!」 理研ビタミン株 大阪工場 向井 浩	㉔ 「新商品・新技術開発」 「大地震直後に免震建物の健全性を確認するための「直立型ロングストローク変位計」の開発と適用」 株竹中工務店 曾根 孝行	㉕ 「マネジメントと組織運営」 「メンバー全員が成果を出せる職場づくり」 株アイシン 尾崎 雪夫	㉖ 「SQCの活用」 「FFAF 切断不良撲滅」 トヨタ紡織株 杉浦 礼記	㉗ 3者によるパネル討論 「3つの「X」をサービスエクセレンスと生産革新に結実させるキーサクセスファクターとは」

企画セッション	時間	A会場 (3階 一ツ橋ホール) 【失敗から学ぶ成功への道 III~企業事例に学ぶ失敗学実践による未然防止~】	B会場 (8階 第一会議室 (801~804)) 【グローバルでの競争優位を目指す設計・開発革新】	C会場 (8階 第二会議室 (805・806)) 【持続的な企業価値の向上のためのSDGsへの取り組み】	D会場 (9階 喜山倶楽部 平安の間) 【経営戦略としての働き方改革の実践 II】
	12:40~13:25	④⑥ 「JR西日本における、失敗学の取り組み事例について」 西日本旅客鉄道株 近畿統括本部 安全推進室 担当室長 後藤 幸雄	⑤⑦ 「これからのモノづくりにおける課題と期待」 ~内閣府 SIP (1期) 『革新的設計生産技術』の取り組みを中心に~ 株日立製作所 研究開発グループ シニアアドバイザー 佐々木 直哉	④⑧ 「Society 5.0 を通じた持続可能な資本主義の確立とSDGsの達成」 (一社)日本経済団体連合会 常務理事 長谷川 知子	④⑨ 「生産性と満足度を高めるリモート実践マネジメント」 株ワーク・ライブバランス 取締役・パートナー・コンサルタント 大塚 万紀子
	13:30~14:15	④⑦ 「日鉄テックスエンジンにおける失敗学の導入・推進と今後の取組み」 日鉄テックスエンジン株 技術本部 品質管理部長 熊倉 政宣	⑤⑧ 「マツダにおける選択と集中による開発革新」 マツダ株 シニアイノベーションフェロー 人見 光夫	④⑨ 「東レグループのサステナビリティ・ビジョン」 東レ株 取締役 専務執行役員 経営企画室長 品質保証本部長 H S 事業開発推進室統括 須賀 康雄	④⑩ 「『月曜日が楽しみな会社にしよう!』知的生産性を飛躍的にあげ、現場にゆとりを創る全体最適のマネジメント理論 TOC」 ゴールドラット・ジャパン CEO アニメーション制作プロデューサー 岸良 裕司
	14:20~15:05	④⑧ 「IHI 資源・エネルギー・環境事業領域における失敗学による未然防止への取り組み」 (株)IHI 資源・エネルギー・環境事業領域 品質保証部 主査 井戸 伸和	⑤⑨ 「新時代を生き抜くための、お客様ファーストの新製品開発から商品開発までのプロセス変革」 ~開発設計生産性革命のためのプロジェクト型品質マネジメント手法 (PGM)~ リコーテクノロジー株 執行役員 プロダクト事業本部 本部長 江間 裕通	④⑩ 「サラヤにおけるSDGsへの取り組み」 サラヤ エスピーエス株 TQM 推進部 TQM 推進室 室長 牧野 敬一	④⑪ 「過重労働から「超」ホワイト企業へ」 ~「残業ゼロ」「男性育休100%」達成からの幸せな「増収増益」~ 株サカタ製作所 代表取締役社長 坂田 匠
	15:10~15:55	④⑨ 3者とフロアによる総合討論 (パネル) 【コーディネーター】濱口 哲也 (株濱口企画 代表取締役)	⑤⑩ 3者とフロアによる総合討論 (パネル) 【コーディネーター】藤井 暢純 (同)グローバル品質経営研究所 代表)	④⑪ 3者とフロアによる総合討論 (パネル) 【コーディネーター】今野 勤 (神戸学院大学 経営学部 教授)	④⑫ 3者とフロアによる総合討論 (パネル) 【コーディネーター】大塚 万紀子 (上掲)

特別講演	時間	A会場 (3階 一ツ橋ホール)
	16:10~17:40	特別講演2 「橋下流!イノベーションの進め方とリスク管理」 橋下 徹 (元大阪府知事・元大阪市長)

事業所見学会 ※詳細は見開き右ページをご確認ください。

日本品質奨励賞 受賞企業講演 (予定) 11.5 Fri 10:10 ~ 10:40 講演が行われる予定です

日本品質奨励賞は、「デミング賞への一里塚」として知られ、「TQM 奨励賞」と「品質革新賞」の2つで構成されています。

**TQM 奨励賞**

品質の改善やその継続、レベルの向上をはかっており、将来デミング賞へ挑戦できるレベルまで発展する可能性のある組織を対象とする。

2020年度までの受賞組織数 56件

**品質革新賞**

広く活用できる優れた品質マネジメント技法を開発した組織のグループ、部門、事業部または、個人を対象とする。

2020年度までの受賞組織数 28件

★日本品質奨励賞の詳細→<http://www.juse.or.jp/jqa/> 本年度は、10月2日に受賞組織を発表する予定です。(敬称略) 2021.7.30 現在